

一般社団法人日本カバディ協会中長期基本計画 2024-2026

令和6年5月

一般社団法人日本カバディ協会
会長 冲永 佳史

【本協会の理念】

我が国におけるカバディ競技を統括し、代表する団体としてカバディの普及および振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

【中長期ビジョン、ミッション】

(1) 強化・育成…「国際大会でのメダル獲得」

指導者の養成、選手強化の計画的・継続的な推進を行い、国際大会で確実にメダルを獲得できるチームを作る。

(2) 普及…「カバディ人口の全国的な拡大」

カバディ人口を全国に広めるため、競技への理解を深める講習会やイベント等を行い、カバディの魅力や価値を伝えていく。

(3) マーケティング…「協賛金・自己資金の確保」

各方面からのスポンサーの確保と自己資金の確保のための体制づくりを行う。

(4) ガバナンス…「各種規程や団体運営組織体制の整備」

ガバナンス・コンプライアンス強化のため、各種規程や団体運営組織体制を整備していく。

(5) 人材の採用及び育成に関する計画…「理事・審判等の組織運営体制の整備」

新たな人材の活用や育成を行い、各種規程等の整備を行い、適切な組織運営体制を強化していく。

(6) 財務の健全性確保…「財務の健全性の確保」

各事業遂行のための資金を確保し、会計の適正処理を行い、財務の健全性の確保を行う。

1. 強化・育成

・現状分析

2010年広州アジア競技大会で男子代表、2012年ワールドカップで女子代表が銅メダルを獲得して以降、主な国際大会でメダルは獲得できなかったが、2019年に男子代表が、Chungju World Martial Arts Mastershipにおいて銅メダルを獲得した。若手の成長も大きく、今後に期待が持てる内容だったが、翌

年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、海外での強化遠征はもちろん国内でも満足いく練習ができなかった。結果、2023年杭州アジア競技大会では予選敗退に終わった。しかし、他国と比べ大きく差を開けられているというわけではなく、今後の強化・育成次第ではメダル獲得も可能だと思われる。

- ・ 達成目標

アジア競技大会（2026年）、アジア選手権大会、ワールドカップにおいてのメダル獲得。その他の大会においても確実にメダルを獲得する。

- ・ 課題解決のための戦略・計画

競技人口は増えつつあるものの、日本代表の質がまだ低い。練習場所の確保や仕事との両立も困難な選手が多い。また、国際大会の数も増えてきたものの、まだ十分な試合経験を積めるほどではない。そのため、カバディリーグ構想や各地域での大会等国内大会を充実させることにより、試合経験を増やし、認知度を上げることによる新しい人材の発掘など、強化・育成に繋げていきたい。併せて、大韓民国やチャイニーズ・タイペイ等、近隣への強化遠征・合宿を行い海外との対戦機会を確保し、代表全体のチーム力アップに繋げる。

- ・ 計画・実施・検証・見直しのプロセス

4年に一度のアジア競技大会（2026年）でのメダル獲得を目標に、計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

2. 普及

- ・ 現状分析

新型コロナウイルス感染症の影響で会員の数が落ち込んだが、徐々に回復し、以前の会員数と同等までは確保できた。イベントや体験会・講習会の機会は激減したが、動画配信などを行ったことによる露出で徐々に会員数も戻り、関東近郊だけでなく全国的な人口拡大につながっていると考える。

- ・ 達成目標

2026年までに年会員数を、2023年度の1.5倍に増やす。また、引き続き全国的な人口拡大を目指す。

- ・ 課題解決のための戦略・計画

地方指導員講習会を実施したことで地方にチームは増えてきているが、まだ指導者が少ない。引き続き、普及指導員や審判員の育成を行い、公認指導員制度を確立する。また、動画配信などを利用し、離れていても実際に教育できるシステムを構築する。

大学生・社会人中心の会員から、高校生・中学生・小学生の人口を増やすため、各年代での大会開催を視野に入れ、学校等への講習会を行っていく。

- ・ 計画・実施・検証・見直しのプロセス

年度ごとに登録会員者数を年齢等細かく把握し、計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

3. マーケティング

- ・現状分析

収入面は、数社のオフィシャルパートナー・会員による会費・寄附金の募集・JSC助成金等を活用しているが、十分とは言えない。

- ・達成目標

各事業の財政基盤を安定させるため、より多くのスポンサー確保を目指す。カバディはアジア特有、特にインド発祥のスポーツのため、インド進出企業を中心に開拓する。また、自己財源の確保のため、会費や登録制度の見直し等を行い、安定的な収入を得られる基盤を作る。

- ・課題解決のための戦略・計画

まずは支援スポンサーの確保が十分にできていないことが一番の問題と考える。カバディ競技の認知度を広めるため、メディア・マスコミへのより積極的な情報発信、また国内外の大会数を増やすなどし、その確保を図る。また、自己財源の確保のため、会費や登録制度の見直し等を行い、安定的な収入を得られる基盤を作る。

- ・計画・実施・検証・見直しのプロセス

決算時に計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

4. ガバナンス

- ・現状分析

ガバナンス・コンプライアンスについては、ガバナンスコード遵守のため、必要な規程整備し、顧問弁護士や会計事務所など専門的な人材との契約を締結した。今の所問題は起きていないと考える。

- ・達成目標

今後さらなるガバナンス・コンプライアンス強化のため、社会的状況の変化など、組織運営に必要な規定の見直しを適宜図る。

- ・課題解決のための戦略・計画

ガバナンス・コンプライアンス強化のため、社会的状況の変化など、組織運営に必要な規定の見直しを適宜図る。また、法律、税務、会計等の専門家のサポートを日常的に受けることができる体制をさらに構築していく。

- ・計画・実施・検証・見直しのプロセス

スポーツ団体ガバナンスコード審査に沿って、計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

5. 人材の採用及び育成に関する計画

・現状分析

事務局運営については、現状1名で行っている。しかし役職員や委員会等から幅広い意見を受けられる体制を作っている。

役員については、任期満了の理事が数名おり、新しい理事を選定中である。

会計処理についての会計事務所のチェック機能を整備しており、法務の専門家と契約を締結しサポートを受けられるよう整備している。

・達成目標

理事の任期満了に伴い外部理事 25%、女性理事 40%を目指し人材の採用を行う。

・課題解決のための戦略・計画

理事の任期満了に伴い役員改選時には女性理事の割合増加（20%→40%）、外部理事については少なくとも現状維持（30%）を達成する。会計処理については、会計事務所のチェック機能を引き続き行い、法務関係についても弁護士からの日常的なサポートを受けられる体制を維持する。

・計画・実施・検証・見直しのプロセス

年度ごとに計画と状況を再分析し、2年ごとの改選時（次回は2024年度）に合わせ、必要に応じて計画を修正していく。

6. 財務の健全性確保に関する計画

・現状分析

財務は、数社のオフィシャルパートナー・会員による会費・寄附金の募集等で、十分とは言えない。また、海外遠征などにはJSC助成金等を活用しているが、こちらも十分とは言えない。

・達成目標

十分な資金を確保し、長期的に各事業目標を遂行できる基盤を構築する。それに伴い、会計の適正処理を行い財務の健全性の確保を行う。

・課題解決のための戦略・計画

スポンサーに関しては、イベントや大会開催数を増やすことで広報活動を行い、開拓していく。自己資金は現状会費収入のみであるが、体験会やイベント、リーグ戦などを実施し、新規会員の開拓・収入を増やすとともに、カバディの普及にもつなげていく。

・計画・実施・検証・見直しのプロセス

決算時に計画と状況を再分析し、収支予算を策定する。必要に応じて計画を修正し、修正予算を策定する。

一般社団法人日本カバディ協会 収支計算書数値目標（2024年4月～2027年3月）

収入の部

| 科目 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 会費収入 | 7,800,000 | 7,800,000 | 8,000,000 |
| 2. 助成金収入 | 4,700,000 | 4,700,000 | 4,700,000 |
| 3. 協賛金、寄附金等 | 4,000,000 | 6,000,000 | 5,000,000 |
| 4. 大会参加料収入 | 2,300,000 | 2,500,000 | 2,700,000 |
| 5. 普及活動収入 | 800,000 | 850,000 | 900,000 |
| 6. 繰越金、その他収入 | 300,000 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 収入合計 | 19,900,000 | 22,850,000 | 22,300,000 |

支出の部

| 科目 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 事業費 | 10,800,000 | 12,400,000 | 12,700,000 |
| 強化活動費 | 5,500,000 | 7,000,000 | 7,000,000 |
| 普及活動費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 広告宣伝費 | 300,000 | 400,000 | 500,000 |
| 競技会事業費 | 3,500,000 | 3,500,000 | 3,700,000 |
| その他事業費 | 500,000 | 500,000 | 500,000 |
| 2. 管理費 | 9,000,000 | 9,000,000 | 9,000,000 |
| 支出合計 | 19,800,000 | 21,400,000 | 21,700,000 |

| | | | |
|------------------|----------------|------------------|----------------|
| 期末残高（繰越金） | 100,000 | 1,450,000 | 600,000 |
|------------------|----------------|------------------|----------------|

※2026年はアジア競技大会開催年のため、多くの寄附金を募り強化費を確保する。